



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 1月号 (No.16)

令和3年1月8日発行



新しい年の始まり



「あけまして おめでとうございます」新しい年、そして、3学期が始まりました。今日の子どもたちは、いつもの笑顔で、はりきって登校してきました。保護者の皆様には、子どもたちを元気に学校へ送り出していただき、ありがとうございます。あいにくの大雪と新型コロナウイルス感染拡大のために、子どもたちの元気な姿が見られないのではないかと一抹の不安があったのですが、学校での様子を見て、安心しました。

子どもたちの冬休みの過ごし方はいかがでしたでしょうか。ウイルス感染防止のために、例年よりは外出することも少なく“巣ごもり”傾向にあったのではないかと思います。初詣も今年は自粛したというご家庭もあったのではないのでしょうか。それでも、家で過ごす時間が多かった分、家族の絆を深める良い機会になったと考えたいところです。

さて、今日の3学期の始業式では子どもたちに「一年の計は元旦にあり」という話をしました。年の初めに「自分のめあて」を立て、それに向かって努力をすることで充実した1年を過ごすことができるというものです。子どもたちにはちょっと難しい感じもするのですが、その子なりのめあてをもって学校生活を送り、成長してほしいという願いを伝えたかったのです。自分でめあてを立てることが難しい場合は担任と相談して、あるいは家族と一緒に立てていいでしょう。そのことで、本人だけでなく、回りの大人も意識して子どもたちと接するようになります。実は、そこが狙いだったりして…。この話には、次があります。「めあてを達成するためには 何をするかが大事！」です。「〇少しがんばればできること 〇具体的なものにすゝる 〇数字を入れる」の3点です。めあてを達成するために取り組んだ1年後に「達成できませんでした」という反省をさせたくないためです。子どもたちはそれぞれに、どんなめあてを立てるでしょうか。楽しみにしているところです。

最後に、学校職員のめあては右にあるとおりです。当然のことですが「そのために何をするか」。それが、毎日の教育活動です。3学期もよろしく願いいたします。



3学期も対コロナ！



年明けはどうなるのかなと思っていたのですが、年末からの新型コロナウイルス感染者数の著しい増加があり、年を明けても右肩上がりの状況が続いています。1月6日・7日には、国内の新規感染者が1日に6000人を超えたというニュースが飛び込んできました。そして、8日からは首都圏を対象とした「緊急事態宣言」に至りました。いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。

私たちにできることは、これまでと同様に手洗い・消毒、マスク着用などの感染防止に取り組むこと、密閉・密集・密接にならない環境をつくること、十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動によるウイルスに感染しにくい体をつくることです。新型コロナウイルス対応が続く、新年のスタートになりましたが、みんなで努力していきましょう。





入賞 おめでとうございます！



令和2年度 新潟県特別支援学校 いじめ見逃しゼロ 標語・ポスターコンクール

☆銀賞

そうだんしてね いつでも きみの みかただから

☆特別賞



「がんばれ!」「ドンマイ!」みんなで はげまし なかよしだ

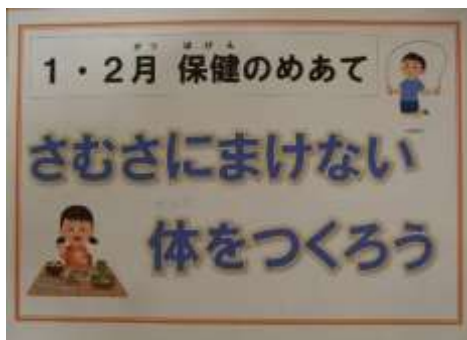
3 学期の学校生活 (過ごし方)

今日の始業式では、生徒指導部（齊藤先生）、保健教育部（歌川先生）、給食教育部（金澤先生・横浜先生）から、それぞれ3学期の学校生活に関するめあてについての話がありました。以下に紹介する内容は、家庭生活においても大切なことです。学校と家庭が同一步調で子どもたちの教育に当たっていきましょう。

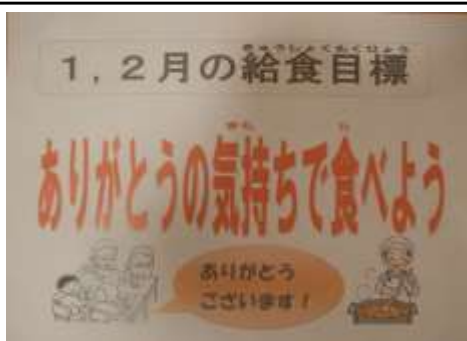


丁寧な言葉遣いは、相手への気遣いとともに自分自身の印象をよくするものです。「おねがい」→「おねがいます」、「ありがとう」→「ありがとうございます」、「ボール」→「ボールです」など、最後まできちんと話す（伝える）ことが大切です。

場面や相手によって遣い分けることができると素晴らしいのですが、基本は丁寧な言葉できちんと話すことです。日常生活の中でしっかりと指導していきましょう。



本格的な冬の到来とともに、寒さも一段と厳しくなってきました。そこで大事なのが、寒さに負けない体を作ることです。そのためのポイントは、①運動すること、②好き嫌いなく食べる、③気温に合わせた服装をすることです。寒いからと言って、こたつの中に入ってゲームばかりしている子はいませんか。野菜が嫌いだからと言って残している子はいませんか。子どもは風の子、元気な子です！



給食を食べるとき「いただきます」と言いますが、誰に対して言っているのでしょうか。栄養教諭の先生、給食調理員さん、食材を運んでくれる人、野菜を育ててくれる農家の人、魚を捕る漁師さん、牛や豚を育ててくれる酪農家など、たくさんの人達が給食に関わっています。1月には給食週間も予定されています。毎日の給食を「ありがとう」という感謝の気持ちをもって食べましょう。